



文責：進路指導部

1 この時期は……

卒業生の進路実績もまとまり、ホームページに掲載いたしました。3年生も2年生もクラス替えの影響も落ち着き、腰を据えて学習に取り組み始めたようです。1年生は、初めての高校生活に幾分戸惑っていることと思いますが、元気に過ごしているようです。

今年も、「進学Now 保護者版」を奇数月に発行して参りますので、進路情報・学年の様子等について、ご理解いただき、本校の進路指導にご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

2 2018年入試の総括

平成29年度の卒業生が挑んだ、2018年入試の結果について、その概要をお知らせします。国公立大学合格者数は最終的に125人（昨年比+4）とやや増加し、センター試験の平均点も、県内の主な進学校で唯一4年連続で上昇しました。また、京都大学医学部に現役で合格しました。この学年は、1年次から模擬テストの結果が良く、多くの科目で過去最高点を更新してきた学年ですが、学習塾への加入率もきわめて少なく、学校の指導の下に成果を出した学年と言えます。

しかも、国公立大学合格者のうち86%以上がそのまま合格先に進学しており（昨年比+11%）、自分の希望する大学を受験して合格を獲得し進学した、という点では自己実現が叶った学年であると誇らしく思います。大学進学後の連絡も多数寄せられており、「本当に良かった」という報告が我々の心を温めてくれています。

本校生は、90%以上の生徒が3年生6月頃まで部活動を続け、そこからクラス一丸となって受験に取り組む。そして最後までクラスの仲間と一緒に頑張り抜くというスタイルで受験に臨んでいます。昨年度も典型的な石高生の受験スタイルが見られたように思います。

関東大会・全国大会へと勝ち進み、さらに秋まで頑張っている文化部もある中で、この様な結果を維持して頑張ってきた先輩たちの姿を手本として、今年も頑張りを見せて欲しいと心から願っています。16歳から18歳という貴重な青春の日々を全力で駆け抜けて欲しい、そんな思いで今年も指導に当たっております。

3 新入試への対応、学年ごとの取り組み目標

今年入学してきた1年生からは、大学入試センターテストが廃止され、「共通テスト」が始まります。この新しい入試は、知識・技能に偏りがちな現在の教育を変革し、個人の様々な才能を見いだしてゆく、新たな観点と評価が注目されています。

本校でも、昨年から行われているプレテストの分析を始め、eポートフォリオへの取り組みなど、重要な課題について検討を進めております。

「思考力」「判断力」「表現力」「主体性」「英語4技能」と新しい入試関係の用語が日々飛び交っておりますが、焦らず迅速に分析と対策を進め、適切な方向へと導いて参りたいと考えております。お子様からの連絡文書等に、目を通してくださるよう、お願い申し上げます。

【1年生】本格的な高校の授業が始まり、中間テストも経験しましたので、だいぶ高校生らしくなってきたことと思います。球技大会でも全力で取り組む姿が印象的でした。これからの高校生活に必要なことをいくつか紹介しておきたいと思います。ご家庭でもご指導下さい。よろしく申し上げます

①基本的な勉強サイクルを確立

高校生の授業は、難易度も上がり、スピードも速くなります。うっかりしていると、すぐに次の単元に移ってしまい、理解が出来ないまま放置されてしまう危険性があります。

是非とも、部活動や各自の生活時間に合わせた、勉強のサイクル（予習→ 授業→ 復習）を完成させて欲しいと思います。

②優先順位を考えた時間配分

今何が必要なのか、どんなことを優先すべきなのか、がわからなくなることが多いようです。高校生になって初めて手にしたスマートフォンの誘惑に負けて時間を浪費したり、夕食後もずっと茶の間でテレビを見ていたり……、やりたいことは山ほどあります。しかし、高校生になったら、自分のために何を優先すべきかを理解し、自分を律して行動して欲しいと思います。

③打ち込めるもの

大切な青春の日々を過ごす高校生には、是非とも「打ち込める」何かを見つけて、全力でチャレンジして欲しいと思います。後悔しない時間を過ごして欲しいと思います。

【2年生】高校生活の時間の流れを理解し、余裕が出てきた学年ですが、あっという間に過ぎていく1年でもあります。そして部活動や生徒会の中心学年として、石橋高校を背負う重要な学年でもあります。新入試にうたわれている「主体性」「思考力」などを念頭に、実りある一年を刻んで欲しいと思います。

①「なぜ」「何のために」「どのように」

学習でも部活動でも、「なぜそうやるのか」、「何のためにやるのか」、「どのようにやるべきか」について、じっくり考え、主体的な解決に向けて努力して欲しい。やらされる勉強ややらされる活動では、身につくものが少なくなります。

②志望校の研究、学部・学科の違い

いよいよ模擬テストも本格的な形式になり、志望する大学も求められるようになります。それぞれの大学が持つ特色や学部学科による違いを調査し、吟味していく必要があります。大学に入ることが目的ではないはず、大学で何をどのように学び、どんな将来に結びつけていくのか、真剣に考える時期になってきました。

【3年生】6月になると2018年も半年を経過したことになります。センター試験の申し込みは9月末～ですので、あと3ヶ月ほどで出願が始まります。部活動も最後の大会で盛り上がっている時期ですが、頭の一部をクールに保って、間違いの無いように準備して欲しいと思います。英語検定を6月に受験する生徒もおりますので、期日や手続きを忘れず、しっかりと準備して行動して欲しいと願います。

①模擬テストの結果は、一ヶ月後に出るもの

3年生になると、模擬テストも多くなり、そのたびに大学ごとの合格判定が出されるようになります。ここで一つご注意いただきたいのが、結果は一ヶ月前の試験結果であるということです。6月に受験した模試結果が7月に、7月の結果が夏休み明けの9月になったりします。「夏休みあんなに頑張ったのに、この結果か。」というのは大きな間違いです。本校生は、**部活動引退後、一定の期間をおいて急激に成績を伸ばし始めます**。どうぞ、模擬テストの受験日を基準に冷静にご判断下さい。そしてお子さんの成長のタイミングを好意的にご判断下さい。

②志望校の絞り込みに必要なこと

ア)受験科目の確認 イ)本人の成績・希望 ウ)ご家族の条件・譲れない点 エ)その他
ア)を確認して受験できるかどうか確認して下さい。イ)は刻々と変化します。見極めは担任との面談を含めて広く情報を分析して下さい。ウ)通学や下宿などを始め、それぞれのご家族の事情が受験大学の範囲に影響を与えます。エ)金銭面・併願大学の日程など最後まで迷う点です。

3年生は受験ばかりが気になりますが、いま一度原点に立ち返り、将来につながる大切な時間として慎重に行動できるようご検討下さい。**本校生は様々な才能を持つ貴重な人材です**。大切な青春の時間を将来に生かせる時間として有意義に過ごし、切り替えたら仲間と共に目標を達成する全力の努力を最後までやり抜く。そんな生徒たちの姿に、今年も期待しています。